

学報



地域科学部国際教養コース学生が学長を訪問

2017 年 8 月 Vol. 720

第 13 回産学ツーリズムを開催	01
平成 29 年度第 4 回学長記者会見を実施	02
地域科学部国際教養コース学生が学長を訪問	03
岐阜県高等学校長代表者との懇談会を開催	04
「第 4 回国際ワークショップ」を開催	05
「留学生と日本人学生のための能楽(能・狂言)ワークショップ」を開催	06
美濃加茂市長らが岐阜大学を訪問	08
「2017 岐阜大学サマースクール(受入)」が終了	09
工学部 高木朗義教授が国土技術開発賞 創意開発技術賞を受賞	11
学位授与	12
表彰受賞者	13
外国人研究者の受け入れ	14
産官学連携の実施状況	15
メディア掲載一覧	17
諸会議	22
主要日誌	24
人事異動(学内限定)	25

第13回産学ツーリズムを開催

7月3日（月）に第13回産学ツーリズムを実施した。

この取り組みは、森脇学長をはじめ大学の執行部が産業活動の現場を訪れ、地域を支える産業の実情を把握し理解を深め、社会貢献の取り組みに役立てることを目的として平成19年度から実施しており、今回で13回目を迎えた。

今回は大垣市にある日本耐酸塩工業(株)と太平洋工業(株)東大垣工場を訪問し、大学紹介、意見交換及び工場見学を行った。

ガラスびん製造業の日本耐酸塩工業(株)ではガラスの融解から金型を用いた成型過程までの製造ラインを見学し、IoTを用いた生産技術の研究開発について意見交換を行った。

自動車部品等製造業の太平洋工業(株)の東大垣工場では人的資源の効率的配分のため工夫を凝らした生産ラインレイアウトや、最新のホットスタンプ技術を見学した。

両社ともに昭和5年創立であり、長期にわたり地域の製造業の発展に寄与してきた企業であるが、今後の発展のため、研究開発や人材確保について大学へ寄せる期待は少なくない。岐阜大学としても産学連携や人材育成により今後も地域産業へ貢献できるよう取り組んでいきたい。



工場見学を行う森脇学長ら（日本耐酸塩工業（株））



岐阜大学の将来ビジョンについて説明を行う森脇学長（太平洋工業（株））

平成29年度第4回学長記者会見を実施

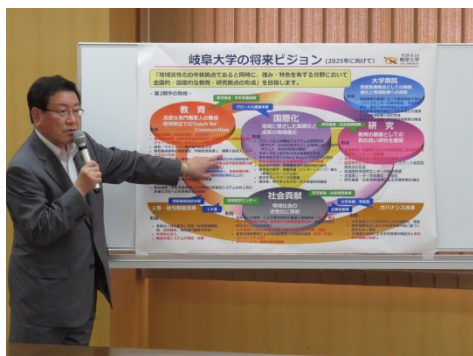
7月5日（水）に、平成29年度第4回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「「ぎふ清流入試」 - 岐阜県内の教育現場で活躍できる人を募集します - 」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行った後、池谷尚剛教育学部長及び山田敏弘教育学部副学部長から平成31（2019）年度入学者選抜から教育学部が実施する推薦入試の変更点及び概要を説明した。

「ぎふ清流入試」はミッションの再定義、学力の三要素への対応を踏まえ、教員養成課程の機能強化及び県内の教員占有率の引き上げを図るために、この推薦入試を導入する。

従来の推薦入学Ⅱ特別入試からの主な変更点は、募集人員を14名から42名まで増員し、ほぼ全講座（課程）で実施すること、個人面接、集団面接を課すこと、さらに入学後の自分自身の学修計画をデザインする学修計画書を提出させることである。

今回の推薦入試改革によって、「岐阜県内の教育現場で活躍できる人」がますます増えることを期待する。



森脇学長による将来ビジョンを用いて説明する様子



池谷教育学部長と山田教育学部副学部長による「ぎふ清流入試」の説明

地域科学部国際教養コース学生が学長を訪問

7月5日（水）、地域科学部国際教養コース2年生学生が学長訪問を行った。

この「国際教養コース」は2016年度から運用が始まり、地域と国際社会の双方で活躍できる人材を育成する教育内容を構成している。具体的には、2年次前学期までに多彩な授業科目を履修して幅広い学問的教養を身に付け、2年次後学期から3年次前学期までの1年間、海外の学術交流協定大学への留学を行う。また、留学先で取得した単位の全部または一部が卒業に必要な単位として認定され、標準の修業年限（4年）での卒業が可能になっている。

今回、学長訪問を行ったのは、国際教養コースの第一期生として、今夏から留学予定の2年生学生8名。以下は留学予定大学の内訳。

アーカンソー大学フォートスミス校（アメリカ）	・・・	2名
ノーザンケンタッキー大学	（アメリカ）	・・・
シドニー工科大学	（オーストラリア）	・・・

訪問において、学生は「異文化の理解を図り、自己の成長につなげていきたい。」や「今後行っていこうと考えている研究領域に関して、留学先国ではどのようなになっているのか知りたい。」等、自身の抱負を語った。また、森脇学長から「学部として組織だってこのように留学を行うのは初めてである。安全に気をつけて、後輩に成果を残して行ってほしい。」と激励の言葉が投げかけられた。



訪問の様子



集合写真

岐阜県高等学校長代表者との懇談会を開催

7月6日（木）、岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会を開催した。平成18年度より行われているこの懇談会は、岐阜県内高等学校と岐阜大学が現状と課題について意見交換を行い、相互に理解を深めることを目的としている。

今年度は、岐阜県高等学校長協会の蛭川会長（大垣北高校校長）はじめ20名の校長をお迎えし、岐阜大学からは、森脇学長、江馬理事・副学長（教育推進・学生支援機構長）はじめ19名の役員・教職員が参加した。

懇談会では、森脇学長から岐阜大学の現状と10年後を見据えた将来ビジョンについて、江馬理事から高大接続改革の動向について、蛭川会長から高校再編活性化計画の動向について、それぞれ説明があった。その後、今尾学長補佐（教育推進・学生支援機構副機構長）の司会により、入試、学生生活、人材育成、卒業生の進路等の話題について意見交換が行われた。

この意見交換では、岐阜県高等学校長協会から教育現場の現状を踏まえた岐阜大学への期待をはじめ、大変多くのご意見ご要望をいただき、地域に根ざした高度な教育・研究拠点を目指す岐阜大学が果たすべき役割を再認識する機会となった。

また、懇談会終了後には学内施設見学として、本学工学部機械工学科機械コースの今尾研究室に設置されている流体研究室風洞装置を見学した。その中で、研究室所属の県内出身の大学院生の高校時代の部活の顧問であった先生が校長として参加しておられ、成長した学生との対面という偶然もあった。

懇談会、施設見学会ともに、岐阜県内の高等学校と岐阜大学とが今後さらに連携を深めるうえで、非常に有意義な機会となった。



森脇学長による挨拶



蛭川会長による説明



流体研究室風洞装置で今尾教授，学生から説明を受ける岐阜県内高校の校長

「第4回国際ワークショップ」を開催

連合農学研究科では、アンダラス大学（インドネシア）の協力を得て平成29年7月17日（月）・18日（火）の2日間、同大学において『第4回国際ワークショップ』を開催した。

本企画は、大学のグローバル化と現地産業界との交流の推進を目的とし、平成26年度から実施している。

初日の17日（月）は、「持続的農業と食料供給のための最新ポストハーベスト技術研究」をメインテーマとしたワークショップを開催した。千家正照岐阜大学大学院連合農学研究科長の開会の挨拶後、エンドリー企画開発協働担当副学長の基調講演、平松研教授によるIC-GU12活動紹介、中野浩平教授、加藤雅也教授、今泉鉄平助教3名の研究紹介、アンダラス大学からフィリ准教授外2名、モンクット王トンブリ工科大学等の教員3名による研究紹介、企業2社（種子生産販売業者・IT関連企業）の企業紹介を行った。

総勢121名ほどの参加者は、熱心に耳を傾けており、意見交換も活発に行われ、情報交換や企業との研究交流が行われ、グローバル化促進のための交流の場として成功のうちに終了した。



千家正照岐阜大学連合農学研究科長の開会挨拶



研究紹介会場の様子



主催者及び講演者等主要参加者との撮影

2日目の18日（火）は、同大学に設置した共同実験室の開所式を開催し、本研究科が購入した分光光度計や遠心機の利用状況を確認した。この共同実験室は、エンドリー准教授（岐阜大学客員准教授）の管理のもと IC-GU12 加盟大学の教員と学生に開放し、ポストハーベスト工学関連の研究拠点とする。

IC-GU12：岐阜大学の呼びかけで形成された「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム」の略称。

「留学生と日本人学生のための能楽(能・狂言)ワークショップ」を開催

留学生センターとグローバル推進本部の共催により、7月19日(水)、柳戸会館集会ホールにおいて「留学生と日本人学生のための能楽(能・狂言)ワークショップ」を開催した。当日はサマースクール参加学生、留学生、日本人学生、教職員等約60名の参加があった。

能の講師として、観世流シテ方の味方 團(みかた まどか)先生と田茂井 廣道(たもい ひろみち)先生、狂言の講師として、大蔵流狂言方の山口 耕道(やまぐち こうどう)先生と茂山 良暢(しげやま よしのぶ)先生の4名をお招きした。

最初に、能の代表的演目のひとつである「石橋(しゃっきょう)」が披露された。先生方の自己紹介の後、能楽の歴史や舞台についての説明や、シリアスな能とコメディの狂言の違いについての話があった。

次に、能と狂言の面(おもて)が5点示され、角度によって表情が変わることや、能面と狂言面に大きな違いがあることを知り、学生は思わず声を上げていた。

学生たちは実際に声を出して狂言の「大笑い」をしたり、謡曲「高砂(たかさご)」を謡ったりした。普段の生活では出せないほどの大声を出して、すっきりした様子だった。狂言「寝音曲(ねおんぎょく)」の鑑賞では、くすくす笑いがやがて会場全体を包み込む大笑いとなり、全身で日本文化を堪能する機会となった。

ワークショップの最後には、サマースクール参加学生のひとりがモデルとなり、能装束の着付けが行われた。鬘をつけ唐装束を着した美しい姿と、鬼になった迫力ある姿、このふたつの装束が披露された。

プロの方による本物の日本の文化を間近で見聞きし体験できるこのワークショップは、岐阜大学にとってかけがえのないイベントとして定着している。

なお当日、CCN ケーブルテレビ、岐阜新聞、中日新聞が取材に訪れ、参加学生へのインタビューなどがあった。

今後も、留学生センター及びグローバル推進本部では、日本文化に触れる機会や、その魅力を学内外へ発信する機会を大切に、活動を展開していく。



能面の説明をする講師の先生方



狂言の「大笑い」を体験



能装束の着付け



先生方と参加者の集合写真

美濃加茂市長らが岐阜大学を訪問

藤井 浩人美濃加茂市長ら6名が、7月20日（木）に岐阜大学を訪問した。

本学と美濃加茂市（美濃加茂市堂上蜂屋柿ブランド構築事業実行委員会）は、昨年度より「干し柿の長期保存方法の開発」について共同研究を実施している。今回は、その研究担当者である応用生物科学部 西津貴久教授から、研究進捗状況について報告を受け、種々意見交換をした後、冷凍保存の実験を行っている研究室等を見学した。

また、見学後は、森脇学長、福士理事らと、今後の連携について懇談した。

なお、本共同研究は、地域協学センターが実施したフューチャーセンター（H27.2.16 美濃加茂市特産「堂上蜂屋柿」の新たな展開を考える）での提案がきっかけとなったものであり、今後の研究成果が美濃加茂市の産業発展に貢献できることを期待する。



西津教授の報告を聞く美濃加茂市長ら



研究室見学の様子



福士理事、王副学長、益川センター長
との懇談の様子



学長との懇談の様子

「2017 岐阜大学サマースクール（受入）」が終了

6月28日（水）にスタートした今年度の岐阜大学サマースクール（受入）は、7月26日（水）の修了式及び歓送会をもって終了した。

本プログラムは、グローバル推進本部が企画・実施する全学事業で、留学生センターが教育プログラムを担当している。今年度も、日本語や日本文化（能楽、浴衣）の授業の他、土岐市での陶芸体験、郡上市での3泊4日のホームステイ、大相撲名古屋場所観戦、長良川鵜飼観覧など、盛りだくさんの内容を提供した。参加者はノーザンケンタッキー大学（アメリカ）から1名、シドニー工科大学（オーストラリア）から2名、木浦（もっぼ）大学（韓国）から3名、電子科技大学（中国）から5名、マレーシア国民大学（マレーシア）から7名、計18名を迎えた。

7月26日（水）の修了式及び歓送会には、サマースクール参加学生のほか、郡上市でお世話になった郡上八幡国際友好協会の皆様やホストファミリーの皆様、森脇学長、杉戸理事、鈴木理事（グローバル推進本部長）、吉田監事、サマースクールを支援した学生チューター、留学生センター教職員等が参加し、別れを惜しみつつも和やかな会となった。

歓送会では、森田留学生センター長からの開会の言葉とホストファミリーの紹介後、森脇学長の挨拶と鷺見幸彦郡上八幡国際友好協会会長の乾杯のご発声があった。修了証書の授与では、参加学生一人ひとりが鈴木理事から証書を受け取った。

その後、各大学の代表者1名ずつがこのサマースクールについて日本語でスピーチをした。それぞれが忘れられない夏を過ごしたことが感じられるスピーチであった。

鈴木理事の閉会の挨拶をもって、今年度のプログラムはすべて終了した。

今回サマースクールに参加した学生が、また来日して岐阜大学を訪れることを楽しみにしている。



郡上での書道教室



土岐での陶芸体験



浴衣体験講座



修了式の集合写真

工学部 高木朗義教授が国土技術開発賞 創意開発技術賞を受賞

工学部社会基盤工学科（環境コース）の高木朗義教授が「第19回国土技術開発賞（一般財団法人国土技術研究センター）」において「創意開発技術賞」を受賞した。

国土技術開発賞は、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的としており、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するもの。また、中小建設業者、専門工事業等者の創意工夫やアイデアにあふれた技術を、特別賞「創意開発技術賞」として表彰する。

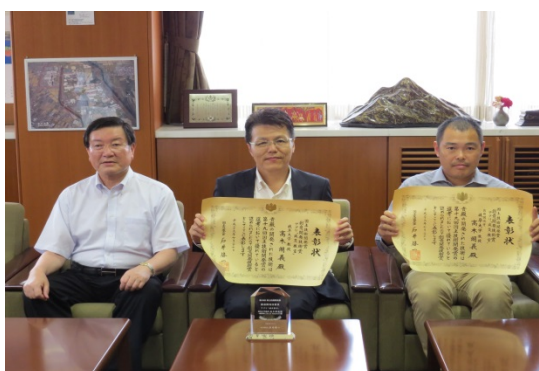
高木教授は、一般社団法人 Do It Yourself の東喜朗氏と「アプリ減災教室」を共同開発した。本アプリは、これまで講座や訓練の機会のみにとどまっていた防災活動をより身近にし、多くの人に防災・減災に関心を持ってもらうことができる。

7月31日（月）には、森脇学長への報告会が行われた。実際に森脇学長は開発されたアプリを使用して減災テストを行った。

高木教授は、「県内の自治会や学校(幼・小・中・高)において減災の対策をいろいろな媒体（アプリ・紙等）で知ってもらいたい。」と報告し、森脇学長は、「ここまで減災対策について進んでいる県はないと思うので、これからも頑張ってもらいたい。」と称えた。



アプリを体験している森脇学長



記念写真

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第1051号	博士(医学)	大家 進也	平成29年7月19日	Impact of intraocular pressure reduction on visual field progression in normal-tension glaucoma followed up over 15 years (15年以上経過観察した正常眼圧緑内障の視野障害進行における眼圧下降の重要性)

表彰受賞者

The 2017 Albert Nelson Marquis Lifetime Achievement Award 受賞

受賞者：川崎 晴久 工学部特任教授

業績名：The 2017 Albert Nelson Marquis Lifetime Achievement Award

受賞日：平成 29 年 7 月 14 日

第 1 回インフラメンテナンス大賞 特別賞 受賞

受賞者：沢田 和秀 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 教授

業績名：メンテナンスを支える活動部門

健全なインフラメンテナンスをリードする技術者の育成事業（ME 養成及び道守養成）

受賞日：平成 29 年 7 月 24 日

国土技術開発賞 創意開発技術賞 受賞

受賞者：高木 朗義 工学部教授

業績名：アプリ「減災教室」

受賞日：平成 29 年 7 月 27 日

独立行政法人日本学術振興会 平成 28 年度「特別研究員等審査会専門委員（書面担当）」 審査委員表彰 受賞

受賞者：能島 暢呂 工学部教授

業績名：平成 28 年度「特別研究員等審査会専門委員（書面担当）」審査委員表彰 受賞

受賞日：平成 29 年 7 月 31 日

外国人研究者の受け入れ（7月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
工学部	モハマッド イブラヒム ナシル アル ラブヤ Mohammad Ibrahim Nasir Al Rabya (カナダ)	石油R&Dセンター 上級分析化学者 Senior Analytical Chemist, Petroleum R&D Center, Bagdad, Iraq	2017/7/3～ 2017/8/25	キャピラリー液体クロマトグラフィーに関する研究 Study on capillary liquid chromatography

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成29年7月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	上田 浩	(株)豊田中央研究所
次世代金型技術研究センター	吉田 佳典	日立金属(株)
工学部	井上 吉弘	(株)豊田中央研究所
工学部	山田 宏尚	富士電機(株)
工学部	關根 敏和	(株)SOKEN/(株)デンソー
工学部	王 志剛	(株)相澤鐵工所
応用生物科学部	矢部 富雄	アサヒグループ食品(株)
応用生物科学部	西津 貴久	(株)日清製粉グループ本社/京都大学
応用生物科学部	前澤 重禮	いび川農業協同組合
工学部	古屋 耕平	ヤンマー(株)
工学部	仲井 朝美	岐阜県工業技術研究所
工学部	吉田 佳典	新日鐵住金(株)
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	東ソー(株)
工学部	山下 実	(株)テイエスケイ
情報統括本部	村上 茂之	公益財団法人岐阜県建設研究センター
応用生物科学部	北口 公司	日本ハム(株)
工学部	河瀬 順洋	東洋電機製造(株)
工学部	山下 実	岐阜県工業技術研究所
工学部	加藤 邦人	長野オートメーション(株)
工学部	隅部 和弘	フルハシ EPO(株)
工学部	尹 己烈	岐阜県工業技術研究所・(株)東海技研工業
工学部	國枝 稔	東亜建設工業(株)
工学部	伊藤 和晃	新明工業(株)
工学部	吉田 豊和	大塚化学(株)
応用生物科学部	千家 正照	(独)水資源機構
工学部	大矢 豊	岐阜県セラミック研究所

○受託研究

(平成29年7月契約分)

部局名	研究代表者	企 業 等 名
応用生物科学部	高島 康弘	大阪大学
連合創薬医療情報研究科	桑田 一夫	名古屋大学
地域協学センター	益川 浩一	岐阜市
医学系研究科	湊口 信也	名古屋大学
工学部	小林 信介	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、森松工業(株)、(株)マルエイ
医学系研究科	森田 啓之	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
医学部附属病院	小関 道夫	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
医学部附属病院	浅田 隆太	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医学部附属病院	榎本由貴子	(株)カネカ
応用生物科学部	寺本 好邦	学校法人加計学園
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	日鉄住金鋼線(株)
流域圏科学研究センター	久世 益充	岐阜県
医学部附属病院	折居 建治	島根大学
大学院医学系研究科	兵藤 文紀	九州大学
大学院医学系研究科	二村 学	国立研究開発法人国立がん研究センター

メディア掲載一覧

○新聞

(平成29年7月分)

掲載日	新聞名	内容
7月1日	中日	軍事研究 賛否語って 「哲学カフェ de ぎふ」きょう討論会 ～元岐阜大学教授 吉田千秋さん～
7月1日	岐阜	日本語指導 的確に 教員ら研修会 外国人生徒へ対応 ～教育学部 山田敏弘 教授～
7月2日	読売	◎病院の実力～岐阜編 113：婦人科がん 腹腔鏡で子宮，卵巣切除 妊娠可能性残す治療 ～医学部附属病院産科婦人科 森重健一郎 教授～
7月2日	中日	社会問題 気軽に語る 「哲学カフェ」記念討論会 ～元岐阜大学教授 吉田千秋さん～
7月2日	中日	専門家招き「スーパー土曜授業」 数遊び楽しく学ぶ ～教育学部 吉村嘉文 准教授～
7月3日	岐阜	かべ新聞コンクール2017 製作へ意欲，題字も考案 出前授業で記事の書き方学ぶ 読み手を意識，情報正しく ～教育学部附属小学校4年生～
7月3日	岐阜	◎素描：地方国立大学の役割 ～応用生物科学部 福井博一 教授～
7月4日	中日	留学生らが鵜飼い観覧で交流
7月4日	朝日	岐阜大に移転 人材育成連携 県中央家畜保健衛生所
7月4日	岐阜	◎研究室から大学はいま：災害での「人の被害」減らす ～流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～
7月5日	中日	植物からバイオエタノール カンボジアで技術普及へ 岐阜の業者 今秋から調査 ～高見沢一裕 名誉教授～
7月5日	岐阜	美濃焼作り，文化体感 岐阜大留学生が土岐市訪問
7月6日	中日	社会 多角的に見よう 岐阜高 岐阜大生が模擬授業 ～教育学部 3年生6人～
7月6日	中日	教員志望に新推薦枠 19年度から 岐阜大教育学部導入 ～池谷尚剛 教育学部長～
7月6日	岐阜	県内で教員になる人向け入試 岐阜大が新推薦枠 19年から育成を強化 ～池谷尚剛 教育学部長～
7月7日	岐阜	橋点検，ドローン活用 各務原市と岐阜大センター協定 ～工学部 附属インフラマネジメント技術研究センター 沢田和秀 センター長～
7月7日	中日	インフラ点検 実用化へ 岐阜大と各務原市 ドローン活用で協定

		～工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 沢田和秀 センター長～
7月7日	朝日	岐阜大教育学部 推薦枠を3倍に 19年度入学生から
7月8日	岐阜	◎ゆっコラム：学ぶ機会，逃しちゃダメ 県ユネスコ協会会長 平 井花画さん
7月8日	岐阜	◎夕閑帳：岐山高校吹奏楽部演奏会に魅了 ～岩田弘敏 名誉教授 ～
7月8日	毎日	ドローンで橋を点検 各務原市と岐阜大が連携 ～工学部附属イン フラマネジメント技術研究センター 沢田和秀 センター長～
7月8日	読売	岐阜大推薦入試で募集増 教育学部 19年度から 42 人
7月8日	岐阜	満天の星 元気出た 岐阜大病院でプラネタリウム ～医学部附属 病院～
7月10日	中日	小学生ら 30 人 薬剤師を体験 ～教育学部附属小学校6年 村上 幹明さん～
7月10日	中日	必修の留学向け 学生8人が抱負 岐阜大地域科学部 ～地域科学 部国際教養コース2年 塩野敦史さん～
7月10日	岐阜	◎素描：母の日のカーネーション ～応用生物科学部 福井博一 教授～
7月11日	中日	軽快な音色響く 岐阜大管弦楽団 瑞穂でコンサート ～岐阜大管 弦楽団サマーコンサート～
7月11日	岐阜	◎研究室から大学はいま：眼疾患の原因を素早く特定 ～医学部附 属病院眼科 望月清文 准教授～
7月11日	朝日	大学駅伝出場 岐阜経大逃す ～第 49 回全日本大学駅伝対校選手 権大会 東海地区選考会～
7月11日	朝日	最新型手術支援ロボ 岐阜大病院，年内に導入 ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
7月12日	日本経済	秋までに地域協学の構内拠点 ～地域協学センター～
7月12日	朝日	替え歌使って社会科授業 「岐阜＝田舎」はステレオタイプ 岐阜 大付中 ～教育学部 田中 伸 准教授～
7月12日	中日	元教諭ら8人の絵画や彫刻並ぶ 岐阜で作品展
7月12日	中日	SA 若さで魅力アップ 中部の学生 商品開発
7月12日	岐阜	◎分水嶺
7月12日	岐阜	外部講師が土曜授業 年 20 講座 教員の負担軽減 ～教職大学院 吉村嘉文 准教授～
7月13日	岐阜	◎夕閑帳：彦根の球場でタヌキに遭遇 ～岩田弘敏 名誉教授～

7月13日	岐阜	リトアニアの歴史紹介 岐阜大留学生 千畝氏の功績も語る 郡上の小学校 ～岐阜大留学生 トマス・バグドナスさん～
7月14日	岐阜	◎ちほ先生が見た 岐阜人の不思議⑦：みだらし団子？ ～教育学部 大藪千穂 教授～
7月14日	岐阜	"考える道徳"実践 岐阜大付属小中 授業で「調停者」を体験
7月14日	岐阜	東海は国公立大志向 高3志願度調査 名城大1位, 岐阜大7位
7月15日	朝日	岐阜大の医学部 同窓会が記念碑 メディアコスモスに
7月15日	岐阜	九州豪雨 県, 職員2人派遣 避難所運営状況を確認 ～清流の国 ぎふ防災・減災研究センター 村岡治道 特任准教授ら2人～
7月17日	岐阜	◎素描：聞くは葬儀の花？ ～応用生物科学部 福井博一 教授～
7月19日	岐阜	医療の即戦力を育成 河田美紀 教授（元医学部附属病院 内科医師）
7月19日	岐阜	◎夕閑帳：音楽療法の講演からの知見 ～岩田弘敏 名誉教授～
7月19日	岐阜	◎未来の NOBUNAGA：多文化交流 参加の場大事 ～岐阜大学大学院卒 マイケル・セヴィエーさん～
7月20日	中日	治療に優先順位 トリアージ訓練 岐阜大病院で学生ら ～医学部 4年生約100人～
7月20日	中日	留学生ら能と狂言体験 日本の伝統芸能紹介 ～「サマースクール」の参加者ら留学生約50人～
7月22日	岐阜	教えてリケジョ先輩 長良高生 岐阜大で研究見学会 ～工学研究科機械工学科修士2年 岩永麻友さん～
7月22日	中日	農家や岐阜大と連携 各務原市 畜産振興で覚書
7月22日	岐阜	署員, 危機管理学ぶ 岐阜北署で防災講演会 ～清流の国ぎふ防災・減災研究センター 村岡治道 特任教授～
7月22日	中日	リケジョ現場体験 長良高生 岐阜大研究室訪ね ～工学研究科機械工学科修士2年 岩永麻友さん～
7月24日	岐阜	京大 OB 親睦深める 「楽友会」が岐阜市で同窓会 ～元岐阜大工学部助教授 京都大大学院総合生存学館館長 寶 馨 氏～
7月24日	岐阜	◎素描：農産物の輸出と知的財産 ～応用生物科学部 福井博一 教授～
7月24日	岐阜	7月28日は, 「世界肝炎デー」 一生に一度は肝炎ウィルス検査を ～医学系研究科消化器病態学分野 清水雅仁 教授～
7月25日	中日	「自由研究参考に」言葉の面白さ紹介 岐阜大生 子ども向け講座 ～教育学部学生 2, 3年生約50人～
7月26日	岐阜	◎夕閑帳：鮎菓子と求肥 ～岩田弘敏 名誉教授～

7月26日	中日	学生ら青年訪中団発足 岐阜で式典 来月、杭州などへ
7月26日	岐阜	オピニオン：次世代の生命科学拠点 創薬への応用目指す ～生命の鎖統合研究センター 石田秀治 センター長～
7月27日	岐阜	日中友好、大学生がつなぐ 青年訪中団結成、来月杭州を訪問 岐阜市との碑文交換 55周年 ～2年 丹羽 諒さん～
7月28日	中日	5学部 1240人募集 岐阜大の入試要項
7月28日	中日	統計調査員と課題議論 岐阜大で就業体験形式講義 ～地域協学センター～
7月28日	岐阜	地域の視点から：ヤギさん除草隊 全国発信へ成果着実
7月28日	岐阜	◎ちほ先生が見た 岐阜人の不思議⑧：やっぱり味噌文化 はじめての味噌カツ感激 ～教育学部 大藪千穂 教授～
7月30日	岐阜	◎みんなで防災・減災：局所的な豪雨 増加の傾向に ～清流の国ぎふ防災・減災研究センター減災技術開発部門 吉野 純 准教授～
7月31日	岐阜	◎教えてホームドクター：マダニ刺咬症 病原体に感染の恐れ ～医学部附属病院皮膚科 高橋智子 臨床講師～
7月31日	中日	スーパーハイスクールセッション 県活性化題材に議論
7月31日	岐阜	◎素描：遺伝資源と品種改良 ～応用生物科学部 福井博一 教授～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成29年7月分)

放送日	番組名	内容
7月10日	FM わっち 12:41～13:00	「岐阜大学からこんにちは」 岐阜大学水泳部のみなさん
7月13日	日本テレビ 「every.」 16:50～17:53	「がん治療後に子どもを…」ある夫婦の思い 日本癌治療学会が初の診療ガイドライン 医学部附属産婦人科 古井辰郎 医師
7月20日	テレビ愛知 17:15～17:25	ゆうがたサテライト「小さな驚きカンパニー」 教育学部家政教育講座 久保和弘 教授 共同研究（株式会社田中金属製作所）の紹介 ・ファインバブル水の2型糖尿病予防効果等に関するインタビュー ・研究室の様子 ・動物試験に用いるファインバブル水の作成の様子

		など
7 月 23 日	NHK 総合 21:00～ 21:50	「NHK スペシャル：ジオジャパン」 第 1 集 奇跡の島はこうして生まれた 工学部社会基盤工学科 小嶋 智 教授
7 月 30 日	NHK 総合 21:00～ 21:50	「NHK スペシャル：ジオジャパン」 第 2 集 奇跡の島は山国となった 工学部社会基盤工学科 小嶋 智 教授

◇第4回 授業編成専門委員会

7月3日（月）

（審議事項）

1. 平成29年度非常勤講師採用計画の一部変更について
2. 平成29年度全学期定期試験の実施について

◇第199回 図書館委員会

7月4日（火）

（審議事項）

1. 電子ジャーナル購入経費について（継続審議）

◇第575回 役員会

7月6日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用申請について

◇第576回 役員会

7月13日（木）

（議事）

1. 懲戒処分事案について

◇第4回 部局長・部長会

7月13日（木）

（協議事項）

1. 管理職手当の見直しについて

◇第577回 役員会

7月20日（木）

（議事）

1. 平成29年度分教員人事について
2. 平成29・30年度分教員人事について
3. 教育職員雇用申請について

◇第161回 教育研究評議会

7月20日（木）

（審議事項）

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第578回 役員会

岐阜大学学報 29.8

7月20日（木）

（議事）

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第4回 教学委員会

7月25日（火）

（審議事項）

1. 全学共通教育における英語教育について
2. 平成30年度学年暦（案）について
3. 平成29年度前期の授業料免除に係る留年・修業年限超過者の取扱いについて
4. 平成29年度課外活動支援事業について

◇第4回入学試験専門委員会

7月26日（水）

（審議事項）

1. 平成30年度大学入試センター試験の試験場設定及び各学部（校舎）別志願者割当数等（案）について
2. 平成31年度私費外国人留学生特別入試における出願資格の変更（案）について
3. 岐阜大学医学部医学科推薦入学Ⅱ特別入試選抜基準の変更（案）について

◇第579回 役員会

7月27日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用申請について

主要日誌

月 日	行 事 名
7/ 3	第4回授業編成専門委員会
4	第199回図書館委員会
6	第575回 役員会 岐阜県高等学校長協会との懇談会
12	グローバル推進本部会議
13	第576回 役員会 第4回 部局長・部長会
15	岐阜大学出前講座
17	第4回国際ワークショップ(連農)
18	ランチタイムセミナー
19	能楽(能・狂言)ワークショップ
20	第577回 役員会 第161回 教育研究評議会 第578回 役員会 平成29年度事務系職員派遣研修(関西大学) 東海地区国立大学法人等新任課長補佐研修(名古屋工業大学) 平成29年度国立大学法人等部課長級研修(国立大学協会)
21	知的財産セミナー
25	第4回 教学委員会
26	第4回入学試験専門委員会
27	第579回 役員会
31	げんさい楽座(サテライト)